

ビジネスに生かす中国古典の言葉(第2回)

まずは自分の行いを正し、身をおさめととのえること

2015.07.09

「修身齐家治国平天下」(『大学』)

皆さんはどんな夢や目標を持っているでしょうか。子どもの頃ならサッカー選手になってワールドカップで活躍する、政治家になってよい国をつくる、なんてことを夢見ませんでしたか。

社会に出た今なら、いずれは経営トップになる、起業して会社を上場させたいといった目標掲げるビジネスパーソンもいるでしょう。もちろん、素敵なパートナーと巡り合い、幸せな家庭を築くという夢もあるかもしれません。そんな夢や目標を実現するにはどうすればいいのか。『大学』にこんな言葉があります。

身(み)修(おさ)

まって后(のち)家(いえ)斉(ととの)う。家(いえ)斉(ととの)いて后(のち)国(くに)治(おさ)まる。国(くに)治(おさ)まって后(のち)天下(てんか)平(たい)らかなり。

(訳) 身を修めて後に、家の秩序が整う。家が整って後に、国が治まる。国が治まった後には、天下全体が平和になるのである。

『大学』は四書五経の一つで、いわゆる国を治める指導者に向けて書かれた書物です。日本でも江戸時代から多くのリーダーたちが学んでいました。今回紹介する言葉は「修身(しゅうしん)・齐家(せいけい)・治国(ちこく)・平天下(へいてんか)」とよくそらんじられている有名な一節です。意味はそんなに難しくはないですね。天下を治めるには、まず自分の行いを正しくすること、次に家庭をととのえ、次に国家を治め、そして天下を平和にすべきであるということです。

己の行動が正しいかを常に自問する… 続きを読む